

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第6節 血液確保対策と適正使用

とりまとめ担当課：保健福祉局生活衛生部薬務課

1 課題に対する平成 25 年度の実績

(1) 献血者の確保	
	<ul style="list-style-type: none"> → 県、市町村及び県赤十字血液センター等が取組むべき献血推進施策を示した「平成 26 年度神奈川県献血推進計画」を策定した。 → 「献血の絵」ポスター展や「夏休み小中学生親子献血教室」等を開催し、若年層に対し啓発を図った。 → 「愛の血液助け合い運動」「はたちの献血」の全国キャンペーンや、県独自の春と秋のキャンペーンを通じて、献血に対する正しい知識と情報提供を行った。
(2) 血液製剤の適正使用	
	<ul style="list-style-type: none"> → 国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進した。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県		出典等
				H24 年度	H25 年度	
(1)	県	献血者数実績及び目標達成率	人	306,426 (99.4%)	301,114 (96.8%)	県赤十字血液センター
(1)	県	献血量実績及び目標達成率	リットル	126,028 (99.4%)	121,419 (94.6)	県赤十字血液センター

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 献血者の確保

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	策定した「平成 26 年度神奈川県献血推進計画」に基づき、県、市町村及び県赤十字血液センター等事業を実施した。
評価理由	献血者数については目標の約 97%、献血量については目標の約 95%を確保し、ほぼ目的を達成するなど、課題解決に向けて、比較的順調に進捗している。
今後の取組み	これまでと同様に、毎年神奈川県献血推進計画を策定するとともに、「献血

の方向性	の絵」ポスター展等のイベントや各種キャンペーンを通じて啓発を図る。
------	-----------------------------------

(2) 血液製剤の適正使用

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省「平成 25 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業」としてアンケート事業を実施した。 また、神奈川県合同輸血療法委員会を 1 回開催し、本県の輸血療法の現状、輸血に関する話題等を提供するとともに、医療機関での適正使用を推進した。
評価理由	計画どおり、国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進するなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	これまでと同様、国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進していく。

4 総合評価

評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 血液確保対策と適正使用については、いずれの課題についても課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--